



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4601		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	田 昌禾		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1313	単位区分	選必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E〔学識・専門技能〕専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP1-H〔論理的思考力・批判的思考力〕理路整然とした思考を備えつつ、偏りを排除するための内省をもって、問題・課題を合理的に解決することができる。 DP4-F〔探求力・課題解決力〕問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP1-I〔理解力・分析力〕文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 DP6-K〔表現力・対話力〕文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L〔協同力・牽引力〕集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 E1 学識と専門技能（20%） H1 論理的思考（10%） H2 批判的思考（10%） F1 探究と論拠（15%） I1 理解・分析と読解（15%） K1 ライティング・コミュニケーション（10%） K2 オーラル・コミュニケーション（10%） L1 チームワーク（10%）		
教員の実務経験	ソウル大学社会発展研究所客員研究員、韓国KBS放送局東京通信員リポーター、韓国EBSラジオ放送局東京通信員、韓国コンテンツ振興院日本ビジネスセンター諮問委員などこれらの実務経験で得られた知見や経験を活かし、本講義を展開していきます。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	■科目概要 危機管理に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、卒業論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養うこととします。ここでは、問題意識を確立し、卒業論文につなげる個人研究のテーマを決定すると同時に、先行研究を収集して専門領域に関する知識を獲得しま		

	す。 授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。 ■キーワード 危機管理、研究論文、研究テーマ、先行研究						
授業の趣旨	■副題 現代社会における危機管理に関する社会学的研究とその課題 ■授業の目的 現代社会における危機管理上解決すべき社会学的諸課題を捉え考察し、研究計画の立案を行い、研究手法の修得、研究成果の発表の各過程、及びグループ研究の手法を通じて、研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。 ■授業のポイント 各自が研究テーマを決め、文献の検索、整理や分析からはじめて、研究計画に関するその成果をプレゼンテーションと議論を繰り返し行いながらそのために要求される知識や技能を学習します。						
総合到達目標	危機管理学に関する社会学的諸問題を社会科学的なアプローチによって考究することができる。 ・先行研究の調査・分析方法を修得する。（第1回～第15回） ・研究テーマを設定し、危機管理上の社会的諸課題について参考文献や資料を収集・分析・考察する姿勢を修得する。（第2回～第15回） ・研究方法や卒業論文の進め方について理解できる。（第1回） ・問題意識を持ちながら問題点や論点を探究し、自らの見解を述べることができる（第2回～第15回）						
成績評価方法	■プレゼンテーション（50%）：適用ルーブリック（E1、H1、H2、F1、I1、K1、K2、L1）（評価の観点）レジュメの内容（テキストの要点や自分の考察結果が適切に論述されているか）、プレゼンテーションの構成や手法（明解な構成になっているか、分かりやすく発表できているか、時間が守られているか）などを中心に評価します。 （フィードバックの方法）報告内容について解説するとともに、評価の観点に基づいて報告後に講評を行います。 ■授業参加度 15回（50%）：適用ルーブリック（E1、H1、H2、F1、I1、K1、K2、L1）（評価の観点）他者の報告に対して自らの考えを積極的に発言しているか、ディスカッションに積極的に参加しているかなど、ゼミナール授業への積極的な参加度を評価します。 （フィードバックの方法）報告内容について解説するとともに、各自の議論への参加について公表します。						
履修条件	特にありません。						
履修上の注意点	特にありません。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(E1、H1、I1)。 ③予習（120分） シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習（120分） ガイダンスで説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の学習計画と履修計画に基づき検討しておく。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 危機管理に資する社会科学研究の基礎演習で展開された研究の意義や、その領域について再度確認し、危機管理と社会学に関する研究領域やその研究方法について学習する（E1、H1、H2、F1、I1、K2、L1）。 ③予習（120分） 関心のあるテーマに関する有用な資料を検討し整理しておくこと。 ④復習（120分） </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(E1、H1、I1)。 ③予習（120分） シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習（120分） ガイダンスで説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の学習計画と履修計画に基づき検討しておく。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。	2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 危機管理に資する社会科学研究の基礎演習で展開された研究の意義や、その領域について再度確認し、危機管理と社会学に関する研究領域やその研究方法について学習する（E1、H1、H2、F1、I1、K2、L1）。 ③予習（120分） 関心のあるテーマに関する有用な資料を検討し整理しておくこと。 ④復習（120分）
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 本授業の内容、目標、学習上の注意点、成績の評価方法などを説明する(E1、H1、I1)。 ③予習（120分） シラバスの内容をよく読み、授業計画や課題について確認する。 ④復習（120分） ガイダンスで説明された内容について再度シラバスを確認し、自身の学習計画と履修計画に基づき検討しておく。 ※下記15回の授業計画については、履修者の事前知識や習熟度、領域比・人数などに応じて最適化するために多少調整する場合がある。変更がある場合には授業内、あるいはポータルにて指示する。						
2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 危機管理に資する社会科学研究の基礎演習で展開された研究の意義や、その領域について再度確認し、危機管理と社会学に関する研究領域やその研究方法について学習する（E1、H1、H2、F1、I1、K2、L1）。 ③予習（120分） 関心のあるテーマに関する有用な資料を検討し整理しておくこと。 ④復習（120分）						

	文献の研究手法や結果について、研究テーマに即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
3	①授業テーマ 卒業論文の研究テーマの選定、研究方法の検討（1） ②授業概要 各自が関心のある分野の中から卒業論文のテーマを選定し、それに向けた準備作業、データ収集、その研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（E1、H1、H2、F1、I1、K2、L1）。 ③予習（120分） 卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 問題点や改善点など教員による指導等を踏まえ、各自が自己の研究テーマに関して再度検討を行う。
4	①授業テーマ 卒業論文の研究テーマの選定、研究方法の検討（2） ②授業概要 各自が関心のある分野の中から卒業論文のテーマを選定し、それに向けた準備作業、データ収集、その研究方法について報告し、受講者全員でディスカッションを行う（E1、H1、H2、F1、I1、K2、L1）。 ③予習（120分） 卒業論文のテーマ候補について検討し、報告のための準備を行う。 ④復習（120分） 問題点や改善点など教員による指導等を踏まえ、各自が自己の研究テーマに関して再度検討を行う。
5	①授業テーマ 文献研究（1） ②授業概要 先行研究に関する文献を徹底的に調査・分析し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる（E1、H1、H2、F1、I1、K2、L1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分） 自身が選んだ文献の研究手法や結果について、自身の卒業論文に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
6	①授業テーマ 文献研究（2） ②授業概要 先行研究に関する文献を徹底的に調査・分析し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる（E1、H1、H2、F1、I1、K2、L1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分） 自身が選んだ文献の研究手法や結果について、自身の卒業論文に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
7	①授業テーマ 文献研究（3） ②授業概要 先行研究に関する文献を徹底的に調査・分析し、その研究方法や明らかにされていることについて議論およびその情報を整理し、説明することができる（E1、H1、H2、F1、I1、K2、L1）。 ③予習（120分） 自身の卒業論文に即した文献について収集し、情報を整理しておく。 ④復習（120分） 自身が選んだ文献の研究手法や結果について、自身の卒業論文に即したものを確認し、さらに必要な文献を収集し情報を整理しておく。
8	①授業テーマ 研究計画作成及び発表準備（1） ②授業概要 文献研究を踏まえて卒業論文の研究計画に関する議論を行い、研究計画の作成及びその発表に向けた準備を行う（E1、H1、H2、F1、I1、K1、K2、I1、L1）。

	③予習（120分） 文献研究で整理された情報を自身の卒業論文に当てはめ、その計画に対して必要な研究方法の選定を行っておく。 ④復習（120分） 卒業論文の作成に必要な研究方法に必要な情報を再度収集しておく。
9	①授業テーマ 研究計画作成及び発表準備（2） ②授業概要 文献研究を踏まえて卒業論文の研究計画に関する議論を行い、研究計画の作成及びその発表に向けた準備を行う（E1、H1、H2、F1、I1、K1、K2、I1、L1）。 ③予習（120分） 文献研究で整理された情報を自身の卒業論文に当てはめ、その計画に対して必要な研究方法の選定を行っておく。 ④復習（120分） 卒業論文の作成に必要な研究方法に必要な情報を再度収集しておく。
10	①授業テーマ 研究計画作成及び発表準備（3） ②授業概要 文献研究を踏まえて卒業論文の研究計画に関する議論を行い、研究計画の作成及びその発表に向けた準備を行う（E1、H1、H2、F1、I1、K1、K2、I1、L1）。 ③予習（120分） 文献研究で整理された情報を自身の卒業論文に当てはめ、その計画に対して必要な研究方法の選定を行っておく。 ④復習（120分） 卒業論文の作成に必要な研究方法に必要な情報を再度収集しておく。
11	①授業テーマ 研究計画発表（1） ②授業概要 卒業論文の研究計画について、発表を行う（E1、H1、H2、F1、I1、K1、K2、I1、L1）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、卒業論文に即した研究計画発表の準備を行っておく。 ④復習（120分） 自身の研究計画に対する課題について整理しておく。
12	①授業テーマ 研究計画発表（2） ②授業概要 卒業論文の研究計画について、発表を行う（E1、H1、H2、F1、I1、K1、K2、I1、L1）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、卒業論文に即した研究計画発表の準備を行っておく。 ④復習（120分） 自身の研究計画に対する課題について整理しておく。
13	①授業テーマ 研究計画発表（3） ②授業概要 卒業論文の研究計画について、発表を行う（E1、H1、H2、F1、I1、K1、K2、I1、L1）。 ③予習（120分） 前回までの授業を踏まえ、卒業論文に即した研究計画発表の準備を行っておく。 ④復習（120分） 自身の研究計画に対する課題について整理しておく。
14	①授業テーマ 研究計画の再検討 ②授業概要 研究計画発表を経て、他者の考え方や捉え方の違いなど他者の意見とのすり合わせを行い、研究計画をより充実した内容にするための議論を行う（E1、H1、H2、F1、I1、K1、K2、I1、L1）。 ③予習（120分） これまでの研究計画における問題点や改善点を整理しておく。 ④復習（120分） 議論内容を踏まえ、再度研究計画の修正を行っておく。

	①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報を整理する（E1、H1、H2、F1、I1、K1、K2、I1、L1）。 ③予習（120分） 先行研究の調査から仮説を設定、データを収集・分析に関する情報を整理しておく。 ④復習（120分） ゼミナールⅡに向けて必要な文献の整理を行っておく。
関連科目	演習系科目としては、「自主創造の基礎1・2（RMGT1215・1RMGT216）」・「危機管理基礎演習Ⅰ・Ⅱ（RMGT2601・RMGT2602）」・「ゼミナールⅡ～Ⅳ（RMGT4602・RMGT4603・RMGT4604）」と関連します。
教科書	なし
参考書・参考URL	各回の授業中に適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に指示します。 ■オフィスアワー 時間外にアポイントメントを希望する方は、メールで事前に連絡をしてください。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント10%：パブリックセキュリティ10%：グローバルセキュリティ60%：情報セキュリティ20% ■危機管理学と法学とのバランス 法学10%：危機管理学90%

